

**Difference
for the Future.**

MUSCAT GROUP新金融戦略 「成長還元型トレジャリー関連投資」

2026年2月 株式会社MUSCAT GROUP（証券コード：195A）



背景 – 当社が直面する2つの経営課題

01 連続M&Aの加速

非連続な成長を実現するためには、機動的な資本政策と強固な財務基盤（バランスシート）の構築が不可欠。

✓ デット調達余力の拡大

純資産を厚くし信用力を高めることで、M&A原資となる借入枠を最大化する。

✓ 機動的なBS構築

優良な買収案件が発生した際に、即座に動ける流動性の高い資産ポートフォリオを維持する。

✓ 資本効率の改善

ボラティリティに耐えうる自己資本比率を確保しつつ、ROEを意識した効率的な資本運用を行う。

02 グローバル市場へのアクセス

「ニッチトップ戦略」で構築した競合優位性を巨大市場に持ち込み、「ニッチグローバル」へ進化するため、成長著しい海外市場への効率的なゲートウェイが必要。

🌐 ニッチトップブランドと相性の良い海外市場への参入

ニッチトップブランドへのニーズが高い先進国市場、あるいは先進国からの移民が多くいる海外市場への参入。

💰 外貨獲得（FX戦略）

歴史的な円安環境下において、国内需要の飽和を補う外貨建て収益の確立が急務。

🚩 グローバルプレゼンスの確立

現地有力パートナーとの連携により、単独進出では困難な信用力とブランド認知を一足飛びに獲得。

NEW FINANCIAL STRATEGY

成長還元型トレジャリー関連投資

目的

財務基盤の強化

純資産を厚くして、信用力を向上。
連続M&Aのための資金調達力を最大化する。

グローバル展開、新規ニッチ市場の開拓

海外市場へのゲートウェイ構築と外貨獲得を目指す。
例：中東・ハラル圏などニッチトップ戦略と相性の良い海外市場

投資方針

✓ トレジャリー関連資産への純投資

アップサイドの見込めるトレジャリー関連資産を中心
に財務リターンを追求

✓ 高い流動性の確保

適宜現金化・事業投資へ切替が可能な資産

✓ 事業親和性の高い成長領域にフォーカス

ニッチトップ戦略との事業親和性が高いWEB3領域

① BS（貸借対照表）の強化

戦略的にトレジャリー関連投資および関連事業投資を実施。
純資産を積み増し財務基盤を強化。

MUSCAT
Group

企業価値
最大化

資金の再配分

③ 利益の事業還元

事業収益の増加と、キャピタルゲインを原資に、更なる事業資金への投資と
トレジャリー関連投資を実施。
(グローバル市場・新規ニッチ市場)

事業投資
・キャピタルゲイン

成長投資・運用

② 信用力のレバレッジ

強化されたBSを背景に
デット調達能力を拡大。
より大きなM&A案件へ対応

対応策 – UCI社から出資を受け本戦略を始動



純投資を基本原則

経営支配を目的とせず、財務リターン（キャピタルゲイン）の獲得に注力する。

機動性と分散

流動性の高い資産を中心に、市場環境に応じ柔軟にポートフォリオを管理。

透明性とガバナンス

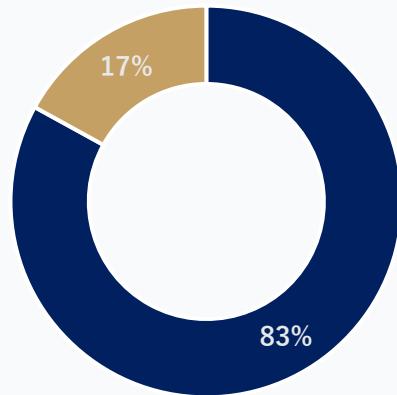
投資実行・回収状況は適時開示基準に則り、適切に報告を行う。

資金使途 – トレジャリー関連投資中心の戦略配分

調達総額

3.0 億円

From UCI (Ultimate Classic Investment)



- トレジャリー投資 (BS強化)
- 事業投資 (PL貢献) · 実費

2.5 億円

戦略投資①：KLab株式会社 市場内買付（純投資）

- ✓ 十分な流動性と情報開示体制を持つトレジャリー銘柄として選定
- ✓ 企業価値向上による財務リターン（キャピタルゲイン）を主目的に保有
- ✓ KLab社の中東市場におけるコネクションによる事業親和性あり
- ✓ TOB（公開買付け）は想定せず、上限枠内で機動的に運用

※ 投資額は戦略投資②とのバランス次第で決定、取得枠上限は2.5億円

0.5 億円

戦略投資②：大手Web3.0企業等（検討中）

流動性とアップサイドが見込め、事業親和性のある領域のトレジャリー銘柄等への投資。

事業投資（PL貢献）・実費

既存ブランドの中東展開に向けたコスト、現地マーケティング実費等。
調達に関わる諸費用（約500万円）。

※ KLab社株式の取得は、公開情報のみに基づき、当社の通常の投資判断プロセスに従って行われるものであり、未公表の重要事実に基づくものではありません。

※ 上記の金額配分は現時点での想定であり、市場環境や事業進捗、協議状況に応じて柔軟に見直しを行う可能性があります。

※ 上記の調達総額には資金の調達に関わる諸費用等を含みます。

今後の展開

投資方針

投資収益においてアップサイドが見込めるトレジャリー関連銘柄への投資を横展開。当社事業領域との親和性が高い領域を中心として、ポートフォリオを構築する。

暗号資産 / グローバルコミュニティ

コミュニティ性の強いWEB3領域で、流動性がある程度維持できる、海外ユーザーの多い暗号資産

※ビットコインやイーサリアムなどのコミュニティ性が低い暗号資産は現状では投資対象外

トレジャリー関連上場株 / 事業領域シナジー

当社ブランドとの親和性が高い領域でのトレジャリー関連上場株

UPCOMING MILESTONE

2026年3月

新・中期成長戦略の発表（予定）

本金融戦略（UCI提携・トレジャリー投資）を当社の成長戦略の一つとして位置づけ、全社的な成長ロードマップの全体像を提示します。

※ 記載の投資方針は検討中の領域例であり、具体的な投資案件は適時開示基準に則り公表します。

ディスクレーマー

発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれている場合がありますが、これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束するものではありません。

当該予想と実際の業績の間には、経済状況の変化や顧客のニーズ及び嗜好の変化、他社との競合、法規制の変更等、今後のさまざまな要因によって、大きく差異が発生する可能性があります。